



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 東邦化学工業株式会社

コード番号 4409 URL <https://toho-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中崎 龍雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長 (氏名) 川崎 正一 (TEL) 03-5550-3735

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績 (2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	39,925	5.8	1,465	196.6	1,487	186.1	1,294	301.7
2024年3月期第3四半期	37,743	△10.3	494	△43.4	520	△31.0	322	△38.4

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 1,148百万円(△15.5%) 2024年3月期第3四半期 1,359百万円(0.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	61.55	—
2024年3月期第3四半期	15.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	70,960	19,951	28.0
2024年3月期	69,936	19,160	27.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 19,870百万円 2024年3月期 19,082百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2025年2月5日)公表いたしました「配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,200	5.1	1,800	133.4	1,700	128.6	1,380	152.5	65.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	21,350,000株	2024年3月期	21,350,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	322,015株	2024年3月期	321,992株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	21,027,999株	2024年3月期3Q	21,028,009株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、賃上げが個人消費を下支えし、設備投資にも持ち直しの動きが見られることから、緩やかな回復基調で推移しております。一方、世界経済においては、欧米における高い金利水準の継続や中国経済の回復の遅れ、米国の政権交代に伴う政策変更の影響、地政学リスクの高まりなど数多くの懸念材料があり、先行きは不透明な状況が続いております。

化学業界におきましては、半導体市況が底打ちし、半導体市場向け製品の販売が回復基調に転じるなどの好材料はあるものの、石油化学製品を中心に中国の景気低迷による影響が長期化しており、厳しい状況が続いております。

このような経営環境下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、国内と海外との原料調達価格差が拡大する中、香料原料の大口ユーザー向け販売が、安価な輸入品への調達切り替えにより大幅減となった一方、半導体市況の回復に伴う電子情報産業用の微細加工用樹脂の大幅な増収、加えて石油添加剤、石油樹脂、アクリレート等の販売回復により、前年同期比2,181百万円、5.8%増収の39,925百万円となりました。

損益面につきましては、増収による収益効果に加え、売上構成の変化等に伴う利益率の改善や連結子会社である東邦化学(上海)有限公司等の業績改善により、営業利益は前年同期比971百万円増益の1,465百万円、経常利益は前年同期比967百万円増益の1,487百万円となりました。また、投資有価証券売却益の発生もあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比972百万円増益の1,294百万円となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

(界面活性剤)

香料原料は、一般洗浄剤の大口ユーザー向け販売の減少により13億円弱の大幅な減収となりました。プラスチック用添加剤は、帯電防止剤等の販売が回復し増収となりました。土木建築用薬剤は、コンクリート用関連薬剤の販売が振るわず減収となりました。農薬助剤は、海外向けの販売が回復し増収となりました。繊維助剤は、販売数量は前年同期比微減となったものの、製品売価の上昇により増収となりました。紙パルプ用薬剤は、海外での販売がやや伸長し増収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比1,248百万円、5.9%減収の19,791百万円となり、セグメント利益は、売上構成の変化等に伴う利益率の改善により前年同期比250百万円増益の551百万円となりました。

(樹脂)

石油樹脂は、原料不足による減産は続いているものの、前年同期と比べると状況は改善しており、減産幅が縮小したことから増収となりました。合成樹脂は、断熱フォーム用ウレタン樹脂等の需要回復により増収となりました。樹脂エマルションは、電子情報関連製品の販売が振るわず減収となりました。アクリレートは、国内・海外ともに需要がやや回復し増収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比671百万円、23.5%増収の3,527百万円となり、セグメント利益は、72百万円(前年同期は37百万円の損失)となりました。

(化成品)

合成ゴム・ABS樹脂用ロジン系乳化重合剤は、海外での販売が振るわず減収となりました。石油添加剤は、海外向けの販売が回復し増収となりました。金属加工油剤は、水溶性切削油剤等の需要回復により増収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比409百万円、9.4%増収の4,749百万円となり、セグメント利益は、前年同期比16百万円増益の50百万円となりました。

(スペシャリティーケミカル)

溶剤は、販売数量は前年同期比減少したものの、製品売価の上昇により増収となりました。電子情報産業用の微細加工用樹脂は、半導体市況の回復に伴い大幅な増収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比2,378百万円、25.3%増収の11,786百万円となり、セグメント利益は、前年同期比403百万円増益の704百万円となりました。

なお、上記の各セグメント利益又は損失の前年同期比の数値は、後記P. 8（セグメント情報等の注記）「報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報」の表における「報告セグメント」の比較情報です。

その他に、各セグメントに帰属しない調整額（棚卸資産の調整額等）が88百万円（前年同期は△105百万円）あります。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、70,960百万円と前期末比1,024百万円の増加となりました。その内訳は、流動資産が1,747百万円増加の39,873百万円、固定資産が723百万円減少の31,087百万円です。

流動資産の主な増減要因は、現金及び預金が793百万円の増加、受取手形及び売掛金が933百万円の増加、棚卸資産が456百万円の増加、未収入金や前渡金の減少を主因とするその他（流動資産）が435百万円の減少です。

固定資産の主な増減要因は、有形固定資産が120百万円の減少、無形固定資産が101百万円の減少、投資その他の資産が501百万円の減少です。

負債合計は51,009百万円と前期末比232百万円の増加となりました。主な増減要因は、支払手形及び買掛金が655百万円の増加、短期借入金が129百万円の増加、1年内償還予定の社債が300百万円の減少、未払法人税等が172百万円の増加、賞与引当金が330百万円の減少、未払消費税等や未払金、未払費用の減少を主因とするその他（流動負債）が476百万円の減少、長期借入金が472百万円の増加、退職給付に係る負債が107百万円の増加、リース債務の減少を主因とするその他（固定負債）が200百万円の減少です。

純資産は、19,951百万円と前期末比791百万円の増加となりました。主な増減要因は、利益剰余金が、配当金の支払いと親会社株主に帰属する四半期純利益との差額等により936百万円の増加、その他の包括利益累計額が149百万円の減少です。

その結果、自己資本比率は28.0%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、売上高は、電子情報産業用の微細加工用樹脂や香粧原料、石油添加剤等の販売が前回予想よりも上振れる見込みであることから、前回予想を上回る見通しです。

利益面については、売上高の上振れに伴う収益効果に加え、売上構成の変化等に伴って前回予想よりも利益率の改善が見込まれることから、営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想を上回る見通しです。

その結果、2024年11月6日の「2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表いたしました2025年3月期の通期連結業績予想を変更しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,754	7,548
受取手形及び売掛金	14,297	15,230
棚卸資産	16,039	16,496
その他	1,042	606
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	38,126	39,873
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,167	13,563
機械装置及び運搬具（純額）	5,076	4,723
土地	3,145	3,145
建設仮勘定	429	518
その他（純額）	2,527	2,274
有形固定資産合計	24,347	24,226
無形固定資産	1,158	1,056
投資その他の資産	6,305	5,803
固定資産合計	31,810	31,087
資産合計	69,936	70,960

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,321	9,976
短期借入金	10,581	10,711
1年内償還予定の社債	300	-
未払法人税等	85	257
契約負債	5	5
賞与引当金	597	267
その他	4,415	3,939
流動負債合計	25,306	25,157
固定負債		
社債	1,700	1,700
長期借入金	15,569	16,041
退職給付に係る負債	6,367	6,475
資産除去債務	69	70
その他	1,763	1,563
固定負債合計	25,469	25,851
負債合計	50,776	51,009
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,755	1,755
資本剰余金	896	896
利益剰余金	12,202	13,139
自己株式	△163	△163
株主資本合計	14,691	15,628
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,662	2,263
為替換算調整勘定	2,100	2,318
退職給付に係る調整累計額	△371	△339
その他の包括利益累計額合計	4,391	4,242
非支配株主持分	77	81
純資産合計	19,160	19,951
負債純資産合計	69,936	70,960

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	37,743	39,925
売上原価	32,683	33,724
売上総利益	5,060	6,200
販売費及び一般管理費	4,566	4,735
営業利益	494	1,465
営業外収益		
受取利息	8	11
受取配当金	115	120
為替差益	13	100
受取保険金	89	35
物品売却益	46	56
その他	44	60
営業外収益合計	317	385
営業外費用		
支払利息	236	280
その他	55	83
営業外費用合計	291	363
経常利益	520	1,487
特別利益		
固定資産売却益	-	1
投資有価証券売却益	11	278
特別利益合計	11	279
特別損失		
固定資産廃棄損	37	44
特別損失合計	37	44
税金等調整前四半期純利益	494	1,722
法人税等	174	426
四半期純利益	319	1,296
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	322	1,294

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	319	1,296
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	263	△399
為替換算調整勘定	747	219
退職給付に係る調整額	28	31
その他の包括利益合計	1,039	△147
四半期包括利益	1,359	1,148
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,355	1,145
非支配株主に係る四半期包括利益	3	3

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシヤ リテー ケミカル	計				
売上高									
日本	18,091	2,304	2,563	9,086	32,046	52	32,099	—	32,099
アジア	2,609	548	1,360	283	4,802	43	4,846	—	4,846
その他	338	3	415	37	795	2	797	—	797
顧客との契約か ら生じる収益	21,040	2,856	4,340	9,407	37,644	98	37,743	—	37,743
外部顧客への 売上高	21,040	2,856	4,340	9,407	37,644	98	37,743	—	37,743
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	89	89	△89	—
計	21,040	2,856	4,340	9,407	37,644	188	37,833	△89	37,743
セグメント利益 又は損失(△)	300	△37	33	301	598	1	600	△105	494

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△105百万円には、棚卸資産の調整額△133百万円等が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	界面 活性剤	樹脂	化成品	スペシヤ リティー ケミカル	計				
売上高									
日本	16,500	2,811	2,613	11,460	33,386	52	33,438	—	33,438
アジア	3,011	716	1,444	280	5,453	14	5,468	—	5,468
その他	279	0	691	44	1,015	3	1,018	—	1,018
顧客との契約か ら生じる収益	19,791	3,527	4,749	11,786	39,855	70	39,925	—	39,925
外部顧客への 売上高	19,791	3,527	4,749	11,786	39,855	70	39,925	—	39,925
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	85	85	△85	—
計	19,791	3,527	4,749	11,786	39,855	155	40,011	△85	39,925
セグメント利益 又は損失(△)	551	72	50	704	1,379	△2	1,376	88	1,465

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析業務等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額88百万円には、棚卸資産の調整額57百万円等が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	2,260百万円	2,100百万円